

初心に戻ろう「白紙展」

「白紙展」。ユニークなタイトルのグループ展が吾川郡いの町の紙の博物館で開かれている。いの美術展などに関わってきた同町出身の美術作家らと同館が、同展のリニューアルを機に「初心に戻ったつもりで再スタートを」と白紙展と題して企画。22人の作家や町民が「白紙」から思いついた造形、平面など27点を展示した。26日(月曜休館)まで。

(西森征司)

紙の博物館 いの町出身作家ら企画

同町では公募形式のいの[s]。同町内の風景写真を美術展、商店街などを会場にした「イノビ・オーダ」などの企画展が随時行われてきた。白紙展ではこれらに参加経験のある作家らが集い、地域性と独自性豊かな作品を出品している。

企画メンバーの1人である横江孝治(同町出身)の「Memory is fragment of Light」(series) 香川県観音寺市の美術作

家、松岡美江の「白紙計画」。真っ白なワンピースの型紙などをたくさんつり下げ、真下の床には色とりどりの糸を並べた。どんな色にも染まりそうな想像が広がる。そばにワンピースを着た少女の映像が流れて効果的。

美術作家ではない同町民が制作した作品も5点ある。その中の1人、農家の刈谷真幸は趣味で使うサーフボードに生産したショウガを載せるなどした作品。自らが懸命に取り組むものを使った点がいい。ごっこつしたショウガの形がユニークさを引き出した。会場にいた横江は「前回きな意識で皆さん制作してくれた」と感謝の言葉を述べ「和紙や農作物が生産さ

れるように、この土地でアートも作られることを発信したい」と企画の意図を話していた。このほかの出品作家は次の通り。

- 石見陽奈、大木裕之、大久保泰邦、岡尚吾、Guy、川村愛、笹岡悟、JET、島崎桃代、竹田篤生、玉木かつこ、筒井美夏、西村知巳、土方佐代香、広瀬公美、山下秀実、山中賢一、山中玉